

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	(独) 航海訓練所船舶建造費補助金		担当部局庁	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H25		担当課室	海技課船員教育室		室長 大立 康祐		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人航海訓練所法)		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	内航海運は、国民生活・経済で必要とされている国内の産業基礎物資の8割の輸送を担う重要な海事産業であるため、それを支える優秀な船員(国際条約の基準を満たす有資格者)の養成を効率的・効果的に実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	内航海運の安全で安定的な海上輸送を支えるため、業界の求める即戦力を備えた新人船員の効果的な養成に向けた訓練体制の拡充に必要な練習船の整備を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		450	450	450	-	
		繰越し等		-	-	-	-	
		計		450	450	450	-	
	執行額		450	450				
	執行率(%)		100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	練習船の建造であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
			活動実績(当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	船舶建造費	450	—					
	計	450	—					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	限られた予算であり、執行率は100%である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	船舶の建造という限りなく限定的な経費であり、有効に活用している。	
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>建造業者に対して、工事の実施状況等の管理・監督を適切に行い、無駄のない予算の執行をさらに図ることとする。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 適切かつ効率的な予算の執行を行った。</p>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業本体的改善	平成25年度は3年間の国庫債務負担行為の最終年度であるが、引き続き建造の管理・監督が適切に行われるよう指導すべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
廃止	建造の適切な管理・監督の結果、25年7月に進水し、26年4月に就航予定。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新23-1030	平成24年	341

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
450百万円

航行の安全確保・海洋環境の保護を図るため、国際基準を満たす優秀な船舶職員を養成するための訓練を行うために必要な練習船建造の補助



【補助】

A.(独)航海訓練所
450百万円

航行の安全確保・海洋環境の保護を図るため、国際基準を満たす優秀な船舶職員を養成するための訓練を行うために必要な練習船建造



B.三井造船(株)
450百万円

練習船建造

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)航海訓練所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
船舶建造費	練習船建造	450			
計		450	計		0
B.三井造船(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
船舶建造費	練習船建造	450			
計		450	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井造船(株)	練習船建造	450	—	—
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—